



2023年11月24日

各 位

会社名 ENECHANGE株式会社
代表者名 代表取締役CEO 城口 洋平
(コード番号：4169 東証グロース)
問合せ先 執行役員CFO 杉本 拓也
(TEL 03-6635-1021)

よくある質問と回答（2023年11月）

日頃より、当社へのご関心をいただきありがとうございます。今月投資家様より頂戴した主なご質問とその回答について、下記の通り開示致します。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

Q1. 2024年度分EV充電インフラの補助金予算の見通しを教えてください。

11月10日に令和5年度補正予算案が閣議決定されております。「経済産業省関係令和5年度補正予算案の概要」によると、クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充電インフラ等導入促進補助金には400億円が盛り込まれており、前年の補正予算比2倍の規模となっております（※）。内訳は公表されておりませんが、10月18日に経済産業省が公表した「充電インフラ整備促進に向けた指針」では、設置目標が15万口から30万口に倍増し、急速充電の設置目標が3万口と据え置きである一方で、普通充電は12万口から27万口に倍以上増加したことを鑑みると、普通充電を対象にした予算が多く盛り込まれると予想しております。

※ 現時点では閣議決定済み、国会承認前となります。なお、前年の補正予算は200億円でしたが、本予算時では300億円となっており、今後、令和5年度補正予算案も本予算時に上方修正される可能性があります。

Q2. 各方面でEV関連の事業参入のニュースを見るが、今後日本においてEVが普及するにあたって何が必要か。

EV普及においては、弊社が目下取り組んでいるEV充電インフラ網の拡大、特に海外先進国と劣る普通充電インフラの設置数の拡大が最重要であると考えております。加えて申し上げますと、大衆向けの価格帯のEV車の販売が重要であると考えており、国内メーカーの大衆向けEVラインアップや中国メーカーのEV車の販売状況等を注視しております。

Q3. プラットフォーム事業が好調な要因には昨年度に冷え込んだ市況の反動需要のようなものがどの程度織り込まれているのか。今の好調な状況の持続性を教えてほしい。

2023年12月期第3四半期決算説明資料のP16に四半期ごとのフロー型収益及びストック型収益を記載しております。ストック型収益はユーザー数の拡大に加え、電気代の値上げに伴い過去最高を記録している一方で、フロー型収益は未だ過去最高を更新しておらず、反動需要のような要素は発生していないと考えております。加えて、政府の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の延長（2024年5月使用分まで）が決定されたことを受け、電力切替の需要が一定消失していると考えております。よって、フロー型収益は未だ回復途上であり、上向きの環境が継続すると考えております。

Q4. 信託S0の会計処理について進展があれば教えてほしい。

第3四半期報告書及び、第3四半期決算短信に記載の通り、第3四半期において、源泉所得税の要納付額相当分としての金額314,212千円を四半期連結貸借対照表の「流動負債」の「未払金」に計上するとともに、これに対応する債権を流動資産の「未収入金」に計上しております。これは、当社においては源泉所得税の納付を行ったのち、原則として納税負担者に対して求償を行う方針であることを反映したものであります。進展については、第2四半期において同様の処理を行った金額429,599千円からは、直近の見積もりの状況を反映して金額が変更となっております。なお、上記方針に変更の予定はありませんが、今後、状況の変化が生じた場合には当社の財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

以 上